

2016年2月17日

各 位

オリックス資源循環株式会社

小田原市と災害時等の廃棄物処理に関する協定を締結 ～大規模災害やトラブル発生時のバックアップ体制を構築～

オリックス資源循環株式会社（本社：埼玉県大里郡寄居町、社長：花井 薫一）は、このたび、神奈川県小田原市との間で、一般廃棄物の円滑な処理体制の整備に関する協定を締結しましたのでお知らせします。

本協定は、小田原市が処理すべき一般廃棄物に関して、大規模自然災害や修繕工事その他トラブルなどにより、市の処理施設が使用できない、または処理能力を超える事態が発生した場合に、オリックス資源循環が運営する施設にて受け入れを行うものです。これにより、自治体による危機発生時の迅速かつ的確な廃棄物処理対応のバックアップ体制を構築します。

オリックス資源循環は、埼玉県寄居町において廃棄物高度処理施設（ゼロエミッション施設(*1))をPFI事業として運営しています。焼却灰が一切発生しない最先端の熱分解ガス化改質方式を採用しており、廃棄物を約2,000℃で熔融し、完全に再資源化できることが特長です。再資源化物質としてスラグやメタルなどを回収するほか、精製合成ガスを敷地内の発電施設で高効率発電の燃料として利用しています。処理能力は、民間施設として国内最大級の日量450トンで、工場や事業所から排出される産業廃棄物だけでなく、埼玉県内および近隣の市町村から家庭ごみなどの一般廃棄物を受け入れています。

オリックス資源循環は、本協定を通じて小田原市のごみ処理課題の解決に貢献するとともに、事業継続計画（BCP）の実現に寄与してまいります。

(*1) 廃棄物を原材料などとしてすべて有効活用することで、不要は排出物を一切出さないこと。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

オリックス株式会社 グループ広報部 藤井・堀井 TEL：03-3435-3167

■協定調印式の様子（写真）



2016年2月17日（水）小田原市役所にて実施

小田原市長 加藤 憲一様（右）、オリックス資源循環株式会社 代表取締役 花井 薫一（左）